

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公開番号】特開2005-274582(P2005-274582A)

【公開日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-039

【出願番号】特願2005-145957(P2005-145957)

【国際特許分類】

G 04 G 13/02 (2006.01)

【F I】

G 04 G 13/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月24日(2006.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現在時刻を計時する計時手段と、

報知希望時刻の指定を受け付ける指定受付手段と、

前記報知希望時刻に基づいて、前記報知希望時刻とは異なる報知実行時刻を決定する実行時刻決定手段と、

前記計時手段が計時する現在時刻を参照し、前記報知実行時刻が到来すると報知する手段であって、キャラクタに関連するメッセージデータを出力する報知実行手段と、を含み

前記実行時刻決定手段は、

時間帯を示す時間帯情報に対応づけて、時間差を示す時間差情報を記憶する時間差情報記憶手段を含み、

前記報知希望時刻が含まれる時間帯に対応づけて記憶される前記時間差情報によって示される時間差分だけ前記報知希望時刻を早めて又は遅らせてなる時刻を、前記報知実行時刻として決定する、

ことを特徴とするキャラクタメッセージ出力装置。

【請求項2】

請求項1に記載のキャラクタメッセージ出力装置において、

前記時間差情報は、時間差の大きさを示す第1の情報と、前記報知実行時刻を前記報知希望時刻よりも早めるか又は遅らせるかを示す第2の情報と、を含み、

前記実行時刻決定手段は、前記報知希望時刻が含まれる時間帯に対応づけて記憶される前記時間差情報に含まれる前記第1の情報によって示される時間差分だけ前記報知希望時刻を該時間差情報に含まれる前記第2の情報に従って早めて又は遅らせてなる時刻を、前記報知実行時刻として決定する、

ことを特徴とするキャラクタメッセージ出力装置。

【請求項3】

現在時刻を計時するための計時ステップと、

報知希望時刻の指定を受け付けるための指定受付ステップと、

前記報知希望時刻に基づいて、前記報知希望時刻とは異なる報知実行時刻を決定するための実行時刻決定ステップと、

前記計時ステップにおいて計時される現在時刻を参照し、前記報知実行時刻が到来すると、キャラクタに関連するメッセージデータを出力するための報知実行ステップと、を含み、

前記実行時刻決定ステップは、

時間帯を示す時間帯情報に対応づけて、時間差を示す時間差情報を記憶してなる時間差情報記憶手段の記憶内容を読み出すためのステップを含み、

前記報知希望時刻が含まれる時間帯に対応づけて記憶される前記時間差情報によって示される時間差分だけ前記報知希望時刻を早めて又は遅らせてなる時刻を、前記報知実行時刻として決定する、

ことを特徴とするキャラクタメッセージ出力装置の制御方法。

【請求項 4】

キャラクタメッセージ出力装置としてコンピュータを機能させるためのプログラムであって、

現在時刻を計時する計時手段、

報知希望時刻の指定を受け付ける指定受付手段、

前記報知希望時刻に基づいて、前記報知希望時刻とは異なる報知実行時刻を決定する実行時刻決定手段、及び、

前記計時手段が計時する現在時刻を参照し、前記報知実行時刻が到来すると報知する手段であって、キャラクタに関連するメッセージデータを出力する報知実行手段、

として前記コンピュータを機能させ、

前記実行時刻決定手段は、

時間帯を示す時間帯情報に対応づけて、時間差を示す時間差情報を記憶する時間差情報記憶手段を含み、

前記報知希望時刻が含まれる時間帯に対応づけて記憶される前記時間差情報によって示される時間差分だけ前記報知希望時刻を早めて又は遅らせてなる時刻を、前記報知実行時刻として決定する、

ことを特徴とするプログラム。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のプログラムを記録した情報記憶媒体を備え、前記情報記憶媒体から前記プログラムを読み出し、配信することを特徴とするプログラム配信装置。